

## 1. あしがり郷交流拠点施設整備による観光地域づくりの推進状況を問う

「あしがり郷交流拠点事業」は北部の観光活性化の中心事業と考えられる。第五次開成町総合計画後期基本計画においても、あしがり郷瀬戸屋敷来園者数を2017年度の43,201人から2024年度には約1.6倍の70,000人を目標値としており、この事業による観光客数、交流人口の増加により北部地域の特産物販売等による農業の振興も期待できる。

交流拠点施設の完成・供用が令和2年2月予定となっているが、交流拠点施設の有効活用については現時点での地域農家と連携が大変重要と思われる。

また、拡大した駐車場を有効に活用するための交通環境や他地域との連携、周知なども必要となってくる。

そこで次の項目について問う。

- ① 交流拠点施設内加工室を主に使用予定の近隣農家との連携は。
- ② 交流拠点施設内販売室の物品、特産品等販売物の選定等はどのようにになっているか。
- ③ 県道720号線の整備状況及び通称「南箱道路」による観光振興の連携状況は。
- ④ あしがり郷瀬戸屋敷の駐車場拡大による新たなイベントの企画は。
- ⑤ あしがり郷交流拠点施設周知及び観光誘致策は。